

1. 区総会懸案事項、代表組長・区長会議において解決をみる

先の、5/11 に開催されました表記の会で「大門神社寄付徴収用務」につきまして懸案となっておりました件は、総会時、区役員からの提案にほぼ近い形で合意をみましましたので、報告させていただきます。会議の中では、懸念事項や推進に向けて意見がいくつか上がりました。

- ① 政教分離の立場から：区や組の役員が徴収の役目を担うのは如何なものか？
- ② 寄付のやり方やあり方について：組長が集めると断わりにくい、一律の金額になってしまう、徴収時留守家庭には再度の訪問手間や時間がかかる、あくまでも寄付なので強制感が出ない方がよい 等。
- ③ 神社関係役員さんから：神社は区の安寧を担う施設と捉えて、「寄付」というより、区民には、氏子の一員としての「氏子費」として頂くという見方を持ってほしい、神社経営も一頃より寄付が少なくなり厳しい状況となっている、安定のためには格段のご協力をお願いしたい。等

以上の議論を受けて、

提案通り、組長が寄付の徴収用務を行う。但し、神社役員が用務に関知しない点は、区民からの理解は得られにくいと思われるので、何らかの形で組長と神社役員が連絡を取り、連携して徴収用務を行う。また、秋祭りとの関係で、時期をずらした二重徴収方法については、各組にはそれぞれの徴収方法があると思われるので尊重し、一律の徴収方法は避けて組独自の方法で行う。の結論に至りました。

今後、区民や関係の役員の皆様には、大変お世話になります。今回の議論をきっかけにして、大門神社祭礼や五番町秋祭りが盛大かつ賑やかに行われることを祈ります。



2. 五番町点描アラカルト

- ① 「柱狩公園」の「鞆（ぶらんこ）」が使われないように荒縄で縛っていたのですが、この頃腐ってしまい用をなさなくなったと、市民から市役所へ通報があり、経由して区長へ連絡がありました。4月早々の区長の初仕事でした。付近には、ボロボロになった縄が落ちていました。早速、鎖タイプのチェーンで縛りなおし、半永久とは言いませんが腐ることはなかったと思います。また、併せて剪定や草刈りもしました。
- ② 昨年度の五番町全体のごみの搬出量による市からの「資源物回収還元補助金」は、前年度より 3 割方多くありました。区民の皆様のゴミ出しに対するご理

解とご協力の賜物と感謝申し上げます。今年度も同様によりしくお願いいたします。

③ 五番町内で賃貸住宅への入居や、リホームした戸建てへの入居、それぞれ新たな転入者がこの頃数件見聞しています。是非区加入の考慮をお願いしたいところです。直接、渉にあたる該当の組長さんには、ご苦労をおかけしますが、何とぞ宜しくお願いいたします。ただ、最近の事情でしょうか、区加入はしないケースも増えてきております。そうした場合、ゴミ出しについては如何でしょうか？国内でも裁判沙汰となっているとお聞きしますが、区非加入でも、ゴミ出しに対しては、ノーとはならないようです。では、如何様にすべきか？ゴミステーション共同利用者間でルールや責任分担を明確にして、了解が得られればOKとのこと。それでも拒否があれば、当事者には自己責任で、しかるべき処理場への搬出や民間業者への依頼の形態となるようです。

④ 最近、西小学校でコミュニティースクール（学校運営協議会）の会で、ボランティアの大人（西の大人）と子どもたち（西の子）との「お願いしますの会」がありました。役を仰せつかっているGですが、こんな内容のお話を。大リーグで活躍する大谷選手から頂いたグローブは、右投げ用と左投げ用がある。どうしてか？いろいろな人がいて、いろいろな人が仲良く使うから。仲良くなる秘訣は「えがお・なかよし・あいさつ」（ええなあ）です。“笑顔は大事です。昔の人が言いました、「女のお化粧は笑顔」だと”。（これは言いませんでした）「つながろう五番町」にも、笑顔・あいさつ、が広がりますように！



⑤ 西小学校敷地の中にある南側桜の大木、昨年度末、西寄りを数本伐採して、本年度になり、近々には東寄り3本を伐採予定と聞いております。従って南側には、桜の木はなくなる予定です。卒業生の記念樹として今まで見続けてきたなら、関係者にとってはつらいことかもしれませんが、最近の風倒木被害の話題からすると、安全にこしたことはない処置かもしれません。もし関係者がおられたらご理解を乞う。

Gのつぶやき * 区長職1か月余が過ぎました。正に「苦長」職でした。区＝苦とはこれ如何に？でも、区長は、あくまでもボランティアが基本です。ですからそこに対して、30代から、「人生はボランティアです」を標榜してきた者にとっては、何を今更の感を、となくなってしまいましたが、それにしても、苦長でなければ「苦短＝件（くだん）でしょうか」「件（くだん：半人、半牛の顔になる妖怪の意味ですが、私は兎です。なれません。）正に「苦多」となり、どこまでも続くよ、となるでしょうが、区民の皆様のお力添えがなによりもお支えになります。こんな区長がまさに文字通り「区長」となれますように、改めて区民の皆様方の一層のお力添えを切にお願いいたします。